

No.1957

4月4日例会	プログラム	「自然科学あれこれⅢ」	宮原 浩平君
4月11日例会	プログラム	「雑誌月間に因んで」	委員長 三宅 一昌君
4月4日のメニュー	・焼肉丼 ・イカソーメン ・塩サバ ・アサリのヌタ ・ざるそば ・コーヒー		

前回(3月28日)例会記録

出席報告	会員総数	36名(内出席規定適用免除者2名)	出席者数	27名	欠席者数	7名	出席率	79.41%	前回補正率	85.29%
	前回補正者	三宅(孝)君								
	欠席者	藤原君 花岡君 東川君 井上君 中山君 大久保君 山田(次)君								

来訪者 道広 一司様 (岡山岡南ロータリークラブ)
青井 賢平様 ((財)岡山県産業振興財団 理事長)
小田 猛様 ((財)岡山県産業振興財団 経営支援部 取引支援グループ 主事)

会長挨拶

本日は、道広一司様(岡山岡南ロータリークラブ)・青井賢平様((財)岡山県産業振興財団 理事長)・小田猛様((財)岡山県産業振興財団 経営支援部 取引支援グループ 主事)にお越し頂いております。ようこそいらっしゃいました。後ほど卓話を宜しくお願い致します。

松尾会長が少し遅れるという事です。急遽わたくし緋田が代理をさせていただきます。先日の日経新聞に地元の三井造船の記事が掲載されておりました。その中で、今までの累積生産数、ディーゼルエンジン6000万馬力という事で世界一だそうです。そこで考えた事は、馬一頭が一馬力として、6000万頭になります。昔の騎馬武者軍団に例えますと、いかに世界を制覇したチンギスハンの軍団といえども、これには及ばないのではないかと考えました。そして、現在、年間生産数は韓国に負けているという事ですので、将来は第2位になるのかなという事でした。

会長報告

- ・本日で3月の例会も終わります。創立40周年記念式典までに、あと2か月となりました。5月に入ると忙しくなりますので、4月中に準備がほぼ出来る様にしたいと思いますので、宜しくお願い致します。

幹事報告

- ・森下ガバナー事務所より4月のレートのお知らせがありました。1ドル98円となっています。
- ・森下ガバナー事務所より『友』インターネットNo.328速報が届いています。
- ・国際ロータリー日本事務局より2007年手続要覧が届いております。
- ・3/27 県南18RC幹事会へ出席して参りました。
- ・RI第2690地区地区青少年交換委員会より派遣学生オリエンテーションの案内が三宅(孝)委員に届いております。
- ・他クラブの週報・例会変更通知につきましては閲覧いたします。

委員会報告

- ・親睦・家族委員会(三宅孝治委員長):3月14日の歓送迎会報告をさせていただきます。19名出席。¥94,500でした。委員会費から¥15,000を足しましたので、ご報告致します。次回も宜しくお願い致します。

スマイル・ボックス

- ・松尾会長、谷口幹事 一道広一司様、よくいらっしゃいました。
- ・松尾会長、谷口幹事、三宅(照)君、藤田君、島田君ー青井賢平様、小田猛様、よくいらっしゃいました。
- ・道広一司様ー青井理事長、卓話を聞きに来ました。
- ・藤田君 ー三宅照正会頭、就任後はじめての総会、無事終了おめでとう。
- ・富永君ー①三宅(保)さん、いつも花をありがとう。②次、前回欠席。
- ・林君ー早退。 ・大西君ー手術の為、早退。 ・渡邊君ー公害審査会の為、早退します。

・松尾会長—③遅刻して申し訳ございません。

・小野君—前々回欠席。

プログラム 「ものづくり岡山をめざして」 (財)岡山県産業振興財団 理事長 青井賢平様

槌田君より紹介

私と青井理事長の接点をお話しさせていただきます。86 岡山県技術交流プラザの例会に出席して頂きました。この 86 プラザは、3 月の例会で出張例会を致しまして、新見でイノシシを食べるのが恒例になっております。その時の講師で、事業紹介としまして、大連視察というお話がありまして、その中で、玉野商工会議所女性会が大連視察をしたというお話がありました。又、青井理事長の方から、造船業に対してのお話もありましたので、是非、玉野 RC のメンバーの方々にごこのお話しをもう一度お願いしたいと思ひまして今日、お越し頂きました。

青井理事長より

本日は、40 周年という伝統ある玉野 RC にお招き頂きまして、ありがとうございます。概ね私共の財団がどういふものなのかという事ですが、お配りさせて頂いたパンフレットをご覧ください。場所は、岡山空港近くのリサーチパークにございます。600 名程度の方々が入場内におりまして、私どもは、主に県内の「ものづくり」企業のご支援をさせて頂いております。(詳しくはパンフレットをご覧ください。会報委員) 私ども財団は、新しく企業を起す支援から始まりまして、手術、再生するところまでを行っております。倒れてしまったら、会頭がいらしておりますが、商工会議所をお願いするしかありません。ですから、私どもの財団は企業が倒れるまで、国の再生機構の様な債権を渡すものが買い取って再生して行くとか、ファンドを投入してその企業を立て直して行く様な手法はございません。金融機関と話し合い、立て直しまで待ってもらふ様な事で再生を援助しております。今、岡山県はどこまで行っても、3 つの空洞化と 3 つのビルドだと思っております。

*3 つの空洞化

- ・物づくり企業がこの 20 年間の間に 30%減っている。
- ・商業の空洞化。30 年間で 30%減少している。
- ・建設業が不景気である。

事業所は減ってはいるが、売上は上がっており、岡山県の物づくりは好況である。

*3 つのビルド

- ・福祉関連
- ・情報関連
- ・物流関連

この 3 つのビルドが頑張っている。私の担当は「ものづくり」関連ですから、どんどん岡山県から「ものづくり」企業が出てくれば、機関車になって教育とか福祉を引っ張って行ってくれると思っております。誰か引っ張って行く人物がいれば、その為の人物づくり、産業おこしをどうやったら各市町村で出来るかを、今日来ている小田君のように勉強してもらっています。産業の現状の中で、企業を減らさずにどのように「ものづくり」を行っていくかが私の使命です。

今、中国は韓国の S T X という造船の大手メーカーの進出を含めて、大連市・長興島臨界工業区に 100 万人規模の工業都市をつくらうと目指しております。ここには、中国最大の造船企業「大連船舶重工有限責任公司」も移転予定になっております。これから 5~10 年先には長興島が世界の造船センターになるであろうと言われております。韓国が出て行くという事です。何故かという、現在の韓国では賃金が高く、造船で働く、工業科を出た新卒の平均賃金は 550 万と言われております。それが、中国であれば 10 分の 1 で雇えるという事です。人件費を考えたら韓国では造船業が成り立って行かないという状況です。鉄板も出来る、人もいる、土地もあるという事で各国が出て行くと思ひます。大連視察には、造船さんをはじめ行かせて頂きましたが、一番聞かれたのは、「三井造船さん、どこにおられますか。エンジン売って下さい」という問い合わせでした。世界に誇る三井造船さんのハイテクノロジーエンジンです。又、水島の川鉄の板、中島プロペラも聞かれました。これを聞いていて、中国が幾ら生産を上げて、技術がしっかりしていれば日本の「ものづくり」は勝てると思ひました。国際化は他分野に渡り進むと思ひますが、これは日本の経済にとって「洪水」であると経営者の方たちに言っております。技術が取られると出で行かなければ押し流される。経営感覚として中国はこういうものなのだと頭の隅に必ず入れておいて下さいと言っております。中国から目を離せない、特に大連は何時も頭において頂きたいと思ひます。

岡山県産業の発展のポテンシャルについては、水島工業団地の大企業を支える中小企業があるからこそと思ひます。「ものづくり中小企業」は県内に 4000 社あります。この中小企業の力がすごいと思ひます。そういった意味で、玉野の玉原工業団地も世界に冠たる工業団地であると思ひます。技術力は三井造船を支え、特にエンジンは素晴らしいと思ひます。という訳で、岡山については、まだまだポテンシャルがあると思ひます。

今後の対策としては、企業誘致と中小企業の活性化がテーマであろうと思ひますが、誘致に関しては、ハイテクであり、綺麗な工業団地を作らうとしております。一番は山梨と言われておりますが、それに負けない工業団地を考えております。

下請け取引の拡大も大切です。三菱自動車の問題でその下請けは多大な損失を受けましたが、トヨタがそれを補いました。下請け業者の減少は非常に問題です。我々は、トヨタのサプライヤーセンターに岡山の企業を連れて行って、宣伝をしました。さすがにトヨタです。社長をはじめ、役員の方々が見に来られました。技術の大切さも解っておられました。三菱もこれは大変という事で頑張り、今は生産台数も元に戻りました。

水島のこれからは、飛行機であろうという事で動いておりますが、これは、岡山県の中小企業の技術力を生かす事であると思ひます。玉野は造船プラスαで新しい産業を起して頂きたいと思ひます。新しい工業団地も造って頂きたいと思ひます。

